

海岸漂着物対策の取組状況について

当市では、海岸漂着物対策の取組として、令和2年度から漁場美化推進事業を実施している。

1 事業目的

低気圧の影響等による風雨時には、多量の雑草木等が河川や周辺海域から漁場に流入し滞留することにより、養殖施設の被害や船舶航路の妨げ等が懸念されている。

このことから、当市沿岸海域の漁場に漂流したごみを迅速かつ確実に回収することにより、養殖施設の被害や船舶航路の妨げ等が軽減され、漁場環境の保全と漁業生産の安定化の向上を図ることを目的としている。

2 事業内容

大船渡市が事業実施主体となり、市内の漁港等に漂流ごみ等回収用コンテナ（約8㎡/1台）を設置（右図参照）し、漁業者が漁業活動中に回収した漂流ごみ等を収集・処分している。

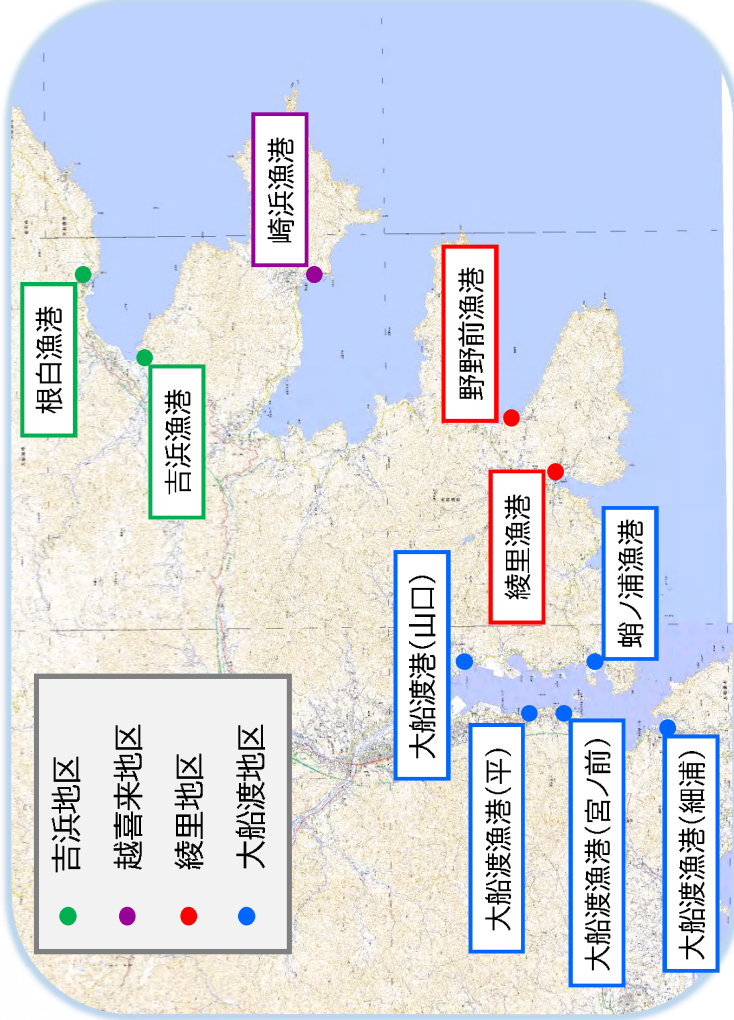
なお、漁業者が行う漂流ごみ等の回収作業は、ボランティア活動として行っている。

- ◆回収する漂流ごみ等
空瓶、空缶、廃プラスチック、木くず、発泡スチロール、タイヤ、漁具等
- ◆回収しない漂流ごみ等
海藻・貝類の付着物、液体・粉末等の内容物、鉛を編み込んだロープ等

3 事業実績

設置期間	事業費	漂流ごみ等 処分回数	漂流ごみ等回収量								
			合計	空瓶	空缶	廃プラス チック	木くず	発泡 スチロール	タイヤ	漁具	その他
令和2年度 R2.11～R3.3	1,900千円	20回	10,656kg	4kg	744kg	1,643kg	3,570kg	18kg	222kg	4,381kg	74kg
令和3年度 R3.4～9月末現在	1,540千円	9回	12,802kg	－	10kg	527kg	5,581kg	23kg	13kg	6,648kg	－

4 回収用コンテナ設置場所



※令和3年度10か所設置



① 委託業者が漂流ごみ等回収用コンテナを設置



③ 漁業者が回収した漂流ごみ等を回収用コンテナに投入



② 漁業者が漂流ごみ等を回収（ボランティア）



④ 委託業者が収集した漂流ごみ等を運搬・処分

6 不法投棄防止対策

(1) 回収用コンテナ設置場所

- ・見通しの良い場所を選定し、不法投棄の抑止をしている。

(2) 回収用コンテナの管理

- ・漁協職員による、巡視を週1回程度、実施している。
- ・回収用コンテナ上部に網を設置し、不法投棄を防止している。
- (3) 不法投棄されない環境づくり
 - ・回収用コンテナ周辺の清掃等を実施し、不法投棄の助長を抑制している。

7 漁業関係者の反応

○メリット

- ・漂流ゴミ等を収集できる場所があり、助かっている。
- ・収集した漂流ゴミ等が風等により、散乱しなくなった。

○デメリット

- ・釣り客が生活ゴミを回収用コンテナに入れることがある。分別・撤去が大変だ。
- ・回収用コンテナの投入口が高いため、流木など重い漂流ゴミ等を入れるのが大変だ。

8 事業の効果

◆漂流ゴミ等を数箇所に収集していたため、漂流ゴミ等の管理ができず、不法投棄が多かったが、回収用コンテナの設置により、漂流ゴミ等を一箇所に収集し、管理できるようになり、不法投棄が減少している。

◆少量の漂流ゴミ等は、発見した漁業者が各自処分していたが、ゴミの種類によっては、漁業者が処分できないものがあり困っていた。回収用コンテナの設置により、漁業者が積極的に回収するようになった。

9 今後の課題

○コロナ禍で釣り客の往来が増えており、回収用コンテナに釣り客が捨てたとみられる生活ゴミが増加傾向となっているため、回収用コンテナの管理を強化するなど、生活ゴミを入れさせない対策を講じる必要がある。

◆対応案

- ・回収用コンテナに網を設置し、ロープで固定している。今後は、ロープに南京錠などを付け、漁業者のみが漂流ゴミ等を入れるようにする。
- ・回収用コンテナ周辺に、注意喚起標識を設置するなど、漁港利用者に周知を図る。



大船渡湾